

弾力性について

弾力性とは

経済学における「弾力性」とは消費者や生産者が、所得の増減や価格の変動などが起きた時、購入量や生産者をどのように変化させるのかを表すものである。

消費者は価格が上がれば購入量を減らす。例として 100 円の値上がりに対して購入量の変化がことなる 2 つの財（商品）を考える。

A 財 元の価格 1000 円→1100 円

元の購入量 10 単位→8 単位

B 財 元の価格 100 円→200 円

元の購入量 10 単位→6 単位

これだけを見ると B 財は A 財に比較して 2 倍も購入量を減少させるから B 財のほうが弾力性が大きいと考えがちである。

しかし弾力性とは変動前の状況に照らして変化の大きさを捉える事が重要であり、変動前の状況を考慮して、弾力性は変化率で表す。

$$\text{需要の価格弾力性 (e)} = \frac{\text{需要量の変化率}}{\text{価格の変化率}}$$

したがって A 財は

$$\text{A 財の価格変化率} = \frac{100 \text{ 円}}{1000 \text{ 円}} \quad \text{A 財の需要量の変化率} = \frac{-2 \text{ 単位}}{10 \text{ 単位}}$$

$$\text{A 財の需要の価格弾力性 (eA)} = -\frac{\frac{-2}{10}}{\frac{100}{1000}} = 2$$

同様に B 財は

$$\text{B の価格変化率} = \frac{100 \text{ 円}}{100 \text{ 円}} \quad \text{B の需要量の変化率} = \frac{-4 \text{ 単位}}{10 \text{ 単位}}$$

$$\text{B 財の需要の価格弾力性 (eB)} = -\frac{\frac{-4}{10}}{\frac{100}{100}} = 0.4$$

弾力性が 1 より大きければ**弾力的**といい、1 より小さければ**非弾力的**という。

このことから A 財の弾力性の値は 2 だから弾力的で、B 財の弾力性の値は 0.4 で非弾力的

といえる。

弾力性には主に 4 つの概念があり、それらは
需要の価格弾力性 需要の所得弾力性
需要の交差弾力性 供給の価格弾力性 がある。我々の興味は需要の弾力性である。

需要の弾力性

需要の弾力性とは価格の変化が需要をどれだけ変化させるかという事を示すための用語である。

弾力的需要

多くの生産物への需要は、消費者の価格変化に対する敏感さによって決まる。価格の変化がわずかであっても需要量の変化が比較的大きい時、需要は**弾力的**であるといえる。

非弾力的需要

商品の中には、需要が**非弾力的**———価格変化による需要量の変化が比較的少ない生産物も存在する。

特定市場と一般市場の識別

ある生産物に関する需要の弾力性を検討する場合、どの市場が検討対象になっているかという事を明確にしておく必要がある。特定のガソリンスタンドを検討に置く場合、ガソリンの需要は弾力性が高いといえる。そのガソリンスタンドが値段を上げた時、消費者は安いガソリンを求めて違うガソリンスタンドに流れていくだろう。だが逆に値段を引き下げると、顧客は安いガソリンを購入しにくるだろう。

一方、ガソリン全体の需要は非弾力的である。ガソリンスタンドが一斉に同じ値段だけ値上げすると、消費者はガソリン代を増やすか、走行距離を減らさざるを得ない。ガソリンの購買量は減少するがその減少は限られたものになるだろう。

総収入テスト

弾力性の重要性を理解するためには、価格の変化が総収入に与える影響を調べるとよい。これを総収入テストと呼ばれる。

総収入を求める

総収入はある生産物の価格に購買量を乗じることで求められる。

生産物の需要が弾力的ならば価格がほんのわずかでも下落すると、消費者の購入量ははっきり増加する。この場合、値下げによる需要の増加は総収入の増加となる。

需要が非弾力的でも価格の低下で需要量はわずかに増加する。しかし、需要の増加は総収入を増加させるほどではない。

3つの結果

価格変化と総収入の関係が図に要約されている。価格が 3 ドルから 2 ドルへ下落した場合の総収入への影響が、需要曲線のそれぞれについて示されている。グラフ A の需要は弾力的である。価格が単位当たり 1 ドル低下すると、需要の増加によって総収入は 6 ドルから 8 ドルへ増加する。

グラフ B の需要曲線は非弾力的である。価格が 1 ドル下落すると、需要は増加しているが、総収入は元の総収入 6 ドルよりも減少している。グラフ C は価格が下落しても総収入に変化がないため、**単位弾力性**と呼ばれる。

価格と収入が反対方向に動いていれば、需要は弾力的である同じ方向に動けば需要は非弾力的、収入に何も変化後なければ需要は単位弾力的である。

弾力性のタイプ	価格の変化	収入の変化	価格と収入の動き
弾力的	↓	↑	反対
単位弾力的	↓	変化なし	
非弾力的	↓	↓	同じ